

三菱 クリーンコンパクト 換気扇(窓枠据付専用)

20cm・25cm・30cm

<学校・事務所・店舗用>

格子タイプ

Table with columns: 形名, 用途, シャッター方式, 運転方式, 電気工事. Lists models like EX-20SC3 and EX-25SC3.

標準タイプ

Table with columns: 形名, 用途, シャッター方式, 運転方式, 電気工事. Lists models like EX-20SC3-EH and EX-25SC3-EH.

■ウェザーカバー・据付部材 対応表

Table mapping fan types (20cm, 25cm, 30cm) to weather cover and mounting parts.

※防火ダンパー付ウェザーカバーを使用する場合はシステム部材の据付部材(対応表参照)が必要です。

取扱説明書(据付説明書付)

Customer and installer instructions regarding safety and installation procedures.

据付け終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。
この製品は日本国内用です...

据付説明 工事店様へ

1.安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

Warning section with icons for 'Prohibited', 'Water No Touch', and 'Bathroom No Touch', and a 'Please Follow Instructions' icon.

Warning section with '注意' (Caution) icon and text about installation safety.

Request section with 'お願い' (Request) icon and list of installation restrictions.

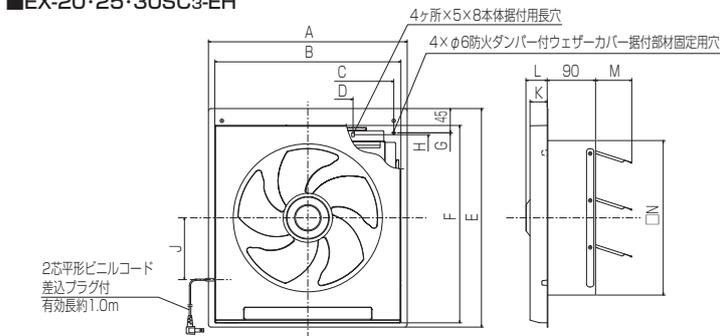
Installation examples and parts list section with diagrams and a parts list table.

2.外形寸法図

Dimensions diagram section showing fan dimensions and a table of size specifications.

給気 排気 ※左のスイッチ用「給気・排気」ラベルを給排切換スイッチにご使用ください。

■EX-20・25・30SC3-EH

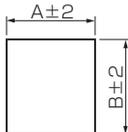


■変化寸法表

形名	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M	N
EX-20SC3-EH	320	296	270	120	360	320	270	265	100	36	50	52	240
EX-25SC3-EH	370	346	320	170	410	370	320	315	120	32	42	68	290
EX-30SC3-EH	420	396	370	220	460	420	370	365	140	45	-	85	340

単位 (mm)

3.アルミパネル穴あけ工事



換気扇据付用の穴あけ寸法

タイプ	A	B
20 cm	300	340
25 cm	350	390
30 cm	400	440

単位 (mm)

- アルミパネルはお客様手配です。
- お客様にてアルミパネルに指定寸法の角穴を開けてください。

お願い

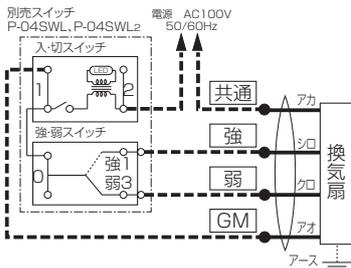
- 窓枠にはめ込むアルミパネルは厚み3~5mmで換気扇およびウェザーカバーを取付けるのに十分強度のあるものを選んでご使用ください。
- 角穴は窓枠と70mm以上離してください。

4.電気工事

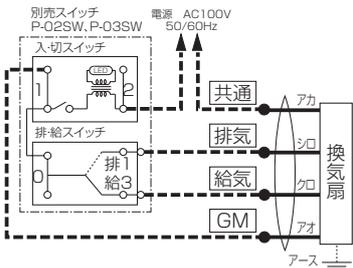
- ※破線部分を結線してください。
- ※D種接地工事を実施する場合は本体内のアース端子をご使用ください。

■結線図

■SC3タイプ



■SC3-RKタイプ



- 電線同士の接続や接地工事を行う場合は電気工事士の方が「電気設備に関する技術基準を定める省令（および同解説）」および「内線規程」に従い実施してください。
- 埋込スイッチ・埋込コンセントの取付ボックスは、JIS C8340に規程の市販品を利用してください。

工事	タイプ	SC3, SC3-RK	SC3-S, SC3-EH
コンセント工事		換気扇の近くに結線用の中継ボックスを設けてください。	換気扇の近くに専用のコンセントを設けてください。
埋込スイッチ工事		操作しやすい場所に埋込スイッチ（システム部材）を設けてください。	
		形名	埋込スイッチ
		EX-20・25・30SC3	P-04SW (P-04SWL) P-04SW2 (P-04SWL2)
		EX-20・25・30SC3-S EX-20・25・30SC3-EH EX-20・25・30SC3-RK	P-10SW (P-10SWL) P-10SW2 (P-10SWL2) P-02SW P-03SW

() は24時間換気用です

5.据付方法



●据付けの際は手袋を着用する
けがの原因。

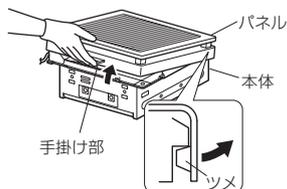
本据付説明書記載の内容が確保されず、点検・修理するために必要となる壁等の取り壊しおよび修復費用はお客様のご負担となります。あらかじめご了承ください。

- 防火ダンパー付ウェザーカバーを使用する場合は、据付部材（システム部材）が必要です。（ウェザーカバー・据付部材対応表参照）
- 据付方法は据付部材（システム部材）の説明書を参照ください。

1 本体・固定枠・屋外部材（ウェザーカバー）をセットする

(1) パネルをはずす

- 手掛け部を手前に引いてパネル裏側上面のツメを本体からはずす。



(2) 羽根をはずす

- 羽根中央部を軽く持って、はずしボタンを押しながら手前に引く。

お願い

- モーター軸ピンのゴムキャップをはずさないでください。異常音発生の原因。
- シャッターを開いたまま床などに置かないでください。シャッターが変形し動作しないことがあります。

羽根のはずしかた

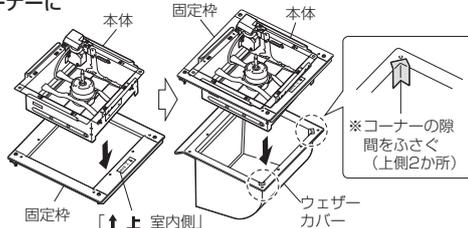


モーター軸ピン

ゴムキャップ

(3) ウェザーカバーのコーナーに防水テープを貼る

- ウェザーカバーの上側コーナー2か所に、内側より、付属の防水テープ（2枚）を貼る。（最後に行うコーキングの補助）



(4) 本体と固定枠をはめ込む

- 固定枠は「↑上」を上側にして、クッション側が下面になる様にはめ込む。

お願い

- 固定枠に貼ってある防水テープ（4枚）をはがさないでください。（防火ダンパー付ウェザーカバー据付部材を使用する場合ははがします）

(5) システム部材のウェザーカバーに

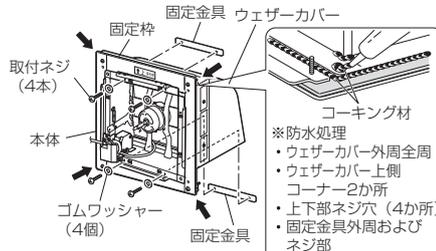
- (4) ではめ込んだ本体・固定枠のセットをはめ込む

(6) 付属の固定金具をウェザーカバーの上下部に

- あって、本体側からネジ（4本）とゴムワッシャー（4個）で本体・固定枠・ウェザーカバーを固定する

(7) ウェザーカバーと固定枠のすき間に市販のコーキング材

- で防水処理を施す（ウェザーカバー外周全周、ウェザーカバー上側コーナー2か所、不要のネジ穴4か所、上下固定金具外周全周、固定金具ネジ部4か所）



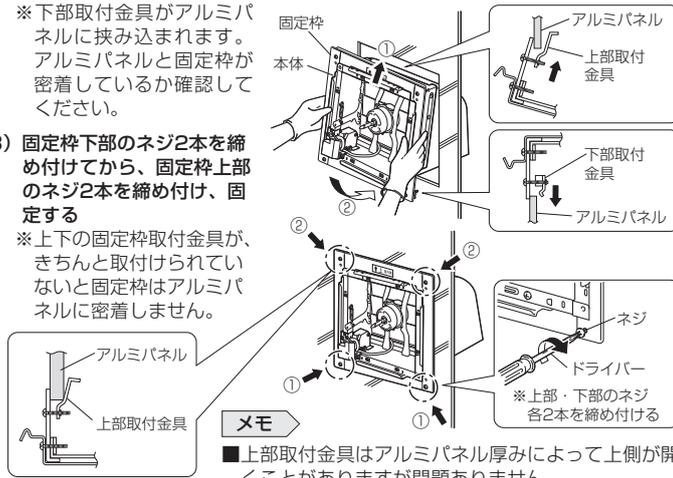
2 窓枠にはめ込んだアルミパネルに手順1で組み立てた本体・固定枠・ウェザーカバーのセットを据付ける

- (1) 上部取付金具にアルミパネルを挟み込む様にして本体を上方向に差し込む
- (2) 本体下部を前に押し、固定枠をアルミパネルへ密着させる様にして本体を下へ降ろす

※下部取付金具がアルミパネルに挟み込まれます。アルミパネルと固定枠が密着しているか確認してください。

- (3) 固定枠下部のネジ2本を締め付けから、固定枠上部のネジ2本を締め付け、固定する

※上下の固定枠取付金具が、きちんと取付けられていないと固定枠はアルミパネルに密着しません。



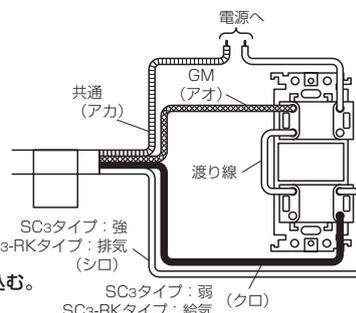
3 電源コードを接続する

- <SC3, SC3-RKタイプの場合>
- 結線図を参考に結線する。

お願い

- 本体電源コードをスイッチに直接接続する場合は、リード線先端に市販の棒型圧着端子を専用工具でかしててください。

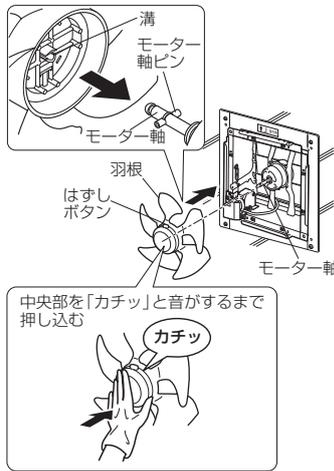
- <SC3-S, SC3-EHタイプの場合>
- 電源プラグを専用コンセントに差し込む。



4 羽根とパネルを取付ける

(1) 羽根を取付ける

- 羽根裏側の溝をモーター軸ピンに合わせながら、羽根中央部をモーター軸に挿入し、「カチッ」と音がするまで押し込む。
- 羽根中央部を軽く手前に引っ張り、羽根が確実に取付けられていることを確認する。

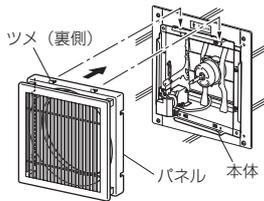


注意

- 羽根や部品の取付けは確実に行う部品の落下によりけがの原因。

(2) パネルを取付ける

- パネル裏側上面のツメを本体上部に引っ掛けて取付ける。



6. 据付後の確認

- 据付作業終了後、試運転の前にチェック表に従って点検します。
- 不具合があった場合は必ず直してください。(機能が発揮されないばかりか、安全が確保できません)

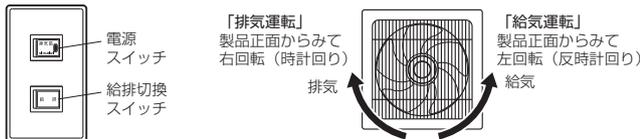
チェック項目	不具合の対策	チェック
電源は100Vですか？	100Vに直します。(異電圧を印加すると製品が破損します)	
本体の据付け強度は十分ですか？	付属の固定金具、取付ネジで確実に固定します。	
パネルが確実に取付けられていますか？	パネルを取付け直します。	
羽根が確実に取付けられていますか？	羽根を取付け直します。	
結線は正しいですか？	結線図に従って正しく結線してください。	

7. 試運転

- 電源スイッチを操作して、換気扇が運転・停止するか、異常な音・振動がないかを確認してください。(シャッターの開・閉もあわせて確認してください)

<SC3-RKタイプの場合>

- 給排切換スイッチを操作して「排気・給気」が切換えができていないか確認してください。(排気・給気は羽根の回転方向で確認できます)



- 試運転時に、次のような症状があれば点検してください。

こんなとき	原因	点検・処置
電源スイッチを入れても羽根が回転しない(シャッターは開くが、羽根が回転しない)	正しく結線されていない(スイッチの渡り線が未配線など) 羽根が確実に取付けられていない	結線を確認する(スイッチ部/電源接続部) 羽根を取付け直します
電源スイッチを入れてもシャッターが開かない(羽根は回転するが、シャッターが開かない)	分電盤のブレーカーが「切」になっている 正しく結線されていない(スイッチの渡り線が未配線など) シャッターに異物などが付着している シャッターが本体に引っ掛かっている(パネル内部)	ブレーカーを「入」にする 結線を確認する(スイッチ部/電源接続部) 異物を取り除く パネルをはずし、引っ掛かりをはずす
シャッターが閉じない	シャッターに異物などが付着している シャッターが本体に引っ掛かっている(パネル内部)	異物を取り除く パネルをはずし、引っ掛かりをはずす
排気・給気が切換わらない(SC3-RKタイプの場合)強弱が切換わらない(SC3タイプの場合)	正しく結線されていない	結線を確認する(スイッチ部/電源接続部)
運転中に異常音や振動がする	本体・パネル・固定枠が確実に取付けられていない 羽根・パネルに異物が付着している	取付け直す 異物を取り除く
結線を確認しても換気扇が動作しない	製品が故障している	製品に100Vを印加して確認する<SC3-RKタイプ> 共通-排⇒羽根が回る(右回転) 共通-給⇒羽根が回る(左回転) 共通-GM⇒シャッターが開く<SC3タイプ> 共通-強⇒羽根が回る(強運転) 共通-弱⇒羽根が回る(弱運転) 共通-GM⇒シャッターが開く

取扱説明

お客様へ

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告	注意
<p>警告 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの</p> <p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ガス漏れに気づいたら、換気扇のスイッチを入・切や電源プラグの抜き差しはしない。爆発・引火の原因。 電源コードを傷つけたり、加工したり、たばねたりしない。火災・感電の原因。 <p>水ぬれ禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> 本体各部に直接水やお湯をかけない。ショート・感電の原因。 <p>分解禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> 改造や工具を必要とする分解はしない。火災・感電・けがの原因。分解・修理は修理技術者のいる販売店または当社のお客様相談窓口にご相談ください。 <p>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない</p> <ul style="list-style-type: none"> 感電・けがの原因。 <p>指示に従う</p> <ul style="list-style-type: none"> お手入れの際、電源プラグの刃および羽の取付面にほこりが付着している場合は、よく拭く。火災の原因。 交流100Vを使用する。交流100V以外を使用すると火災や感電の原因。 異常・故障時には、直ちに使用を中止する。発煙・発火、感電、けがの原因。(異常・故障例)本説明書末尾の「愛情点検」をご参照ください。 <p>プラグを抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜くか、分電盤のブレーカーを切る。感電・けがの原因。 	<p>注意 誤った取扱いをしたときに軽傷または家庭・家財などの物的損害に結びつくもの</p> <p>接触禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> 運転中は、羽根の中に指や物を入れない。けがの原因。 <p>指示に従う</p> <ul style="list-style-type: none"> 羽根や部品の取付けは確実に行う。部品の落下によりけがの原因。 お手入れの際は手袋を着用する。けがの原因。 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜く。感電・ショートして発火の原因。 長期間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜くか分電盤のブレーカーを切る。絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。

使用方法

■SC3タイプ

電源スイッチで「入」⇔「切」します。強弱切換スイッチで「強運転」⇔「弱運転」が切り替わります。

■SC3-S, SC3-EHタイプ

壁スイッチで「入」⇔「切」します。

■SC3-RKタイプ

電源スイッチで「入」⇔「切」します。給排切換スイッチで「給気」⇔「排気」が切り替わります。

※24時間換気用として使用する場合は、特別な場合(運転異常・点検・お手入れ)を除き、常時電源スイッチを「入」でご使用ください。

お願い

- 給気運転時は、雨水・雪・霧を吸い込み、室内に水滴が落下することがありますので、そのような場合には「給気運転」を停止してください。また、換気扇の下に書棚等を設置しないでください。(SC3-RKタイプのみ)
- 換気扇設置場所でも中性以外の洗剤や消毒剤などを頻りに使用しないでください。(製品の寿命が短くなる場合があります)

お知らせ

- SC3-RKタイプのみ
- 給気運転時は直接外気が吸い込まれ、虫・ほこりなどが侵入するおそれがあります。
- 冬期、結露によって本体から結露水が落下することがあります。

お手入れ

換気扇が汚れてきましたら約2〜3月に1度を目安として、清掃してください。

警告

- お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜くか分電盤のブレーカーを切る。感電・けがの原因。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。感電・けがの原因。
- 本体各部に直接水やお湯をかけない。ショート・感電の原因。

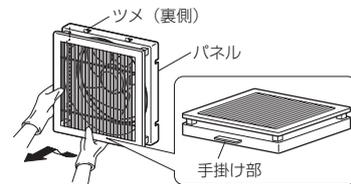
注意

- お手入れの際は手袋を着用する。けがの原因。

各部品のはずしかた

1 パネル

- 手掛け部を手前に引いて、パネル裏側上面のツメを本体からはずす。

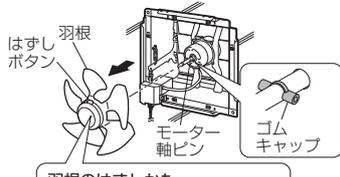


2 羽根

●羽根中央部を軽く持って、はすしボタンを押しながら手前に引く。

お願い

●モーター軸ピンのゴムキャップははずさないでください。
異常音発生の原因。



羽根のはずしかた

はすしボタンを押す



3 本体

●本体の清掃は据付けたままでおこなう。

お願い

●本体を固定しているネジははずさないでください。
製品落下の原因。

清掃のしかた

■パネル・羽根

台所用中性洗剤を溶かしたぬるま湯（40℃以下）に浸して、スポンジなどで軽くこすって汚れを落とす。汚れを落とした後、水洗いし、よく乾かしてください。

■本体

台所用中性洗剤を溶かしたぬるま湯（40℃以下）に浸した布で汚れをふき取った後、洗剤が残らないように乾いた布でからぎしてください

お願い

- 台所用中性洗剤を使用量の目安まで薄めて使用してください。（洗剤は原液のまま使用しないでください）
- お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください。（台所用中性洗剤をご使用ください。ただし、柑橘系などの植物系洗剤はプラスチックが破損するおそれがあるため使用しないでください）シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザーなどの研磨剤入りの洗剤、殺菌剤、消毒剤など（異常音の発生、変質、変色や故障の原因になります）
- シャッターを開いたまま床などに置かないでください。
- モーター軸ピンのゴムキャップをはずさないでください。
- 羽根に水分が付着した状態でモーター軸に取付けしないでください。（モーター軸にサビが発生し、羽根がはずせなくなるおそれがあります）

お手入れ後の組立てと確認

お手入れが終わりましたら、取りはずすと逆の順序で組立てる。

■部品の落下や故障を防ぐため以下の点検をしながら組立てる。

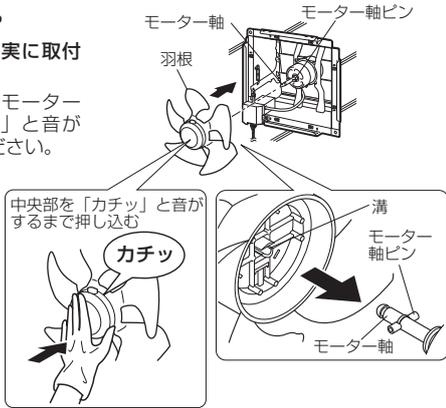
①電源コードに傷はないか？

②本体、羽根、パネルが確実に取付けられているか？

- 羽根は、羽根中央部をモーター軸に挿入し、「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

⚠注意

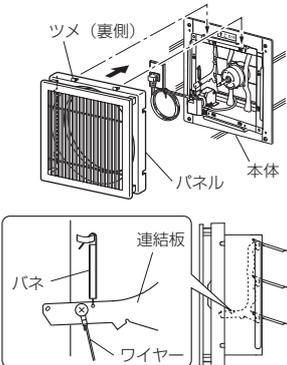
- 羽根や部品の取付けは確実に落下によりけがの原因。



- パネルは、パネル裏側上面のツメを本体上部に引っ掛けて取付けてください。

お願い

- 羽根中央部を軽く手前に引っ張り、羽根が確実に取付けられていることを確認してください。
- パネルを軽く引っ張ってははずれないことを確認してください。
- 電源プラグの刃および刃の取付面にほりかきが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。



- ③電源を入れ換気扇の運転に異常がないか確認する。

..... 故障かな?と思ったら

以下のような症状があれば点検してください。
点検をしても直らない場合、また下記以外の現象が生じた場合は、必ず分電盤ブレーカーを切って（電源プラグを抜いて）からお買上げの販売店または、工事店にお申し付けください。

こんなとき	原因	点検してください
運転しない	本体に通電されていますか？	●分電盤ブレーカーを点検します ●停電ではありませんか？
運転中に異常な音がある	パネル、羽根が確実に取付けられていますか？	取付け直します
シャッターが正常に動作しない	本体、シャッターが変形していませんか？ 開閉機構の部品がはずれていませんか？	販売店または工事店へ確認します 取付け直します

..... アフターサービス

ご不明な点や修理に関するご相談は、お買上げの販売店かお近くの「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」にご相談ください。

ご相談窓口・修理窓口のご案内（住宅用換気送風機）

取扱い・修理のご相談は、まずお買上げの販売店・施工者・設備業者へ

●お買上げの販売店にご依頼できない場合（転居や贈答品など）は、**「各窓口」へお問い合わせください。**

■お問い合わせ窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様から提供いただきました個人情報は、下記のとおり、取扱いいたします。
1.お問い合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様および下記のお客様を除き、当社以外の第三者にご提供いたした個人情報は、本目的の範囲内において保有・サービス目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合、法令等定める規定に基づき、個人情報に関するご相談は、お問い合わせをいただきました窓口にご連絡ください。

ご相談窓口 住宅用換気送風機の購入相談・取扱い方法

●三菱電機換気送風機技術相談センター

0120-726-471 (無料)
携帯電話・PHS対応
三菱電機株式会社 中津川製作所 FAX (0573) 66-5659 (有料)
〒508-8666 岐阜県中津川市朝陽町1番3号

■ご相談対応

平日（土・日・祝及び弊社休日以外）
9:00～12:00
13:00～19:00

修理窓口 住宅用換気送風機の修理の問合せ・修理の依頼

受付時間365日24時間

●三菱電機修理受付センター

0120-56-8634 (無料)
<http://www.melco.jp>
空メールの送付先: fc8634@melco.jp
または2次元コードからアクセス。
URLをメール返信します。

携帯電話・PHSの場合

TEL 0570-01-8634 (有料)
FAX 0570-03-8634 (有料)

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
●電話番号をお確かめのうえ、お間違のないようおかけください。

S18A-KANKAN-A

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この換気扇の補修用性能部品を、製造切取り後6年保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
長年ご使用いただくためには換気扇のメンテナンスが必要です。
モーターは消耗部品です。

..... 仕様

■窓枠付付け 格子タイプ<学校・事務所用>

電圧100V

形名	給排	消費電力 (W)		開放風量 (m³/h)		有効換気量 (m³/h)				騒音 (dB)	質量 (kg)	
		50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	P-20・25・30 CVA5, CV55:換付時		P-20・25・30 CVA45, CV50:換付時				
						50Hz	60Hz	50Hz	60Hz			
EX-20SCa	排	強	15.5	18	540	606	485	540	450	480	37.5	41
		弱	9	9.5	360	348	330	285	300	260	28	25.5
EX-25SCa	排	強	31.5	38	900	996	805	860	710	755	40.5	43
		弱	13	14	570	528	460	445	395	390	27.5	26
EX-30SCa	排	強	40	48	1290	1290	1220	1190	1130	1100	42.5	42.5
		弱	17	17.5	702	672	645	620	595	570	25.5	24
EX-20SCa-S	排	強	15.5	18	540	606	485	540	450	480	37.5	41
		弱	9	9.5	360	348	330	285	300	260	28	25.5
EX-25SCa-S	排	強	31.5	38	900	996	805	860	710	755	40.5	43
		弱	13	14	570	528	460	445	395	390	27.5	26
EX-30SCa-S	排	強	40	48	1290	1290	1220	1190	1130	1100	42.5	42.5
		弱	17	17.5	702	672	645	620	595	570	25.5	24
EX-20SCa-RK	給	強	20	23.5	570	660	515	585	475	535	39	43.5
		弱	9	10	324	288	270	250	240	210	36.5	33
EX-25SCa-RK	給	強	32	40.5	954	1038	820	875	730	770	42	44.5
		弱	13.5	14.5	510	474	400	370	350	320	38	35.5
EX-30SCa-RK	給	強	43.5	50	1322	1314	1260	1195	1170	1100	43.5	43
		弱	21.5	23.5	780	744	715	690	660	635	42	40.5

※24時間換気運転です

※測定方法はJIS C 9603による

■窓枠付付け 標準タイプ<学校・事務所用>

電圧100V

形名	給排	消費電力 (W)		開放風量 (m³/h)		有効換気量 (m³/h)				騒音 (dB)	質量 (kg)	
		50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	P-20・25・30 CVA5, CV55:換付時		P-20・25・30 CVA45, CV50:換付時				
						50Hz	60Hz	50Hz	60Hz			
EX-20SCa-EH	排	強	19.5	23	570	660	525	610	490	555	37	41
		弱	9	9.5	360	348	330	285	300	260	28	25.5
EX-25SCa-EH	排	強	32	40	996	1068	865	920	760	800	39	42
		弱	13	14	570	528	460	445	395	390	27.5	26
EX-30SCa-EH	排	強	40	48	1404	1404	1300	1270	1170	1130	40.5	40.5
		弱	17	17.5	702	672	645	620	595	570	25.5	24

※測定方法はJIS C 9603による

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

【本体への表示内容】

※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容を本体に表示しています。

【設計上の標準使用期間とは】

※運転時間や湿度など、標準的な使用条件（右表による）に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※本製品の設計上の標準使用期間は、製造年を始期とし、JIS C 9921-2に基づいて算出されたもので、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものではありません。

●本製品は取扱説明書記載の設置場所の想定時間を用いて設計上の標準使用期間を算出しています。
●「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。



【製造年】本体に西暦4ケタで表示してあります

【設計上の標準使用期間】15年
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

■標準使用条件 JIS C 9921-2

環境条件	電圧	単相100V	定格電圧による
周波数	50Hzおよび60Hz	定格周波数による	
湿度	20℃	JIS C 9603から引用	
設置条件	標準設置	据付説明書による	
負荷条件	定格負荷	「仕様」による	
想定時間	1年間の使用時間	換気時間* 2193時間/年	

愛情点検



☆長年ご使用の換気扇の点検を!

ご使用の際このようなことはありませんか。
●スイッチを入れても羽根が回転しない。
●運転中に異常音や振動がある。
●回転が遅いまたは不規則。
（モーターはメンテナンスが必要な部品です）
●ご臭いにおいがする。
●本体据付部に腐食、破損などがある。

使用中止

故障や事故防止のため、電源を切ってください。必ず販売店にご連絡ください。点検、修理に要する費用は販売店にご相談ください。

お客様メモ

サービス依頼されるとき便利です。

形名	年	月	日
お買上げ年月日			
お買上げ店名 (住所) (電話番号)			

この製品には地球環境保護の一環として再資源化ができるように主なるプラスチック部品に材質名を表示しています。材質名は主材料にISO規定の略号を使用。

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市朝陽町1番3号